

情報活用からみた「学びの質」ルーブリック 2017.3.26 版
 方針1：網羅性より学びの質が見えるところ 方針2：複数の観点を含んだ系統性を示す 方針3：学年は考えない

	観点	熟達者	上級者	中級者	初心者	
収集	(A) 図書	<探す> 図書の種類、分類法、データベース	定義、最新情報、意見など課題の種類にあわせて調べる図書を選ぶ	課題にあわせて本、事典、雑誌、統計など調べる図書の種類を選ぶ	分類法を手がかりに探す、データベースを利用する	図書の配置を手がかりにする 司書の方にたずねる
		<読む> 目次・索引、拾い読み、探し読み、批判的読み	接続詞やキーワードに注意して著者の主張を読み取り、評価する	文章の構成を意識して拾い読みをする	調べたいことをもとにキーワードを考えて探し読みをする	目次や索引を使って調べたいものを見つける
	(B) ウェブ	<検索> キーワード、検索機能	課題にあわせて複数の検索サービスを組み合わせる	期間、種類など検索方法を工夫する	キーワードの組み合わせを考える	思いついたキーワードを入力する
		<判断> サイトの種類、信頼性、新しさ、出典	作成者の意図や立場を踏まえて情報の信頼性を総合的に評価する	複数のサイトから情報源の信頼性を評価する	作成者や更新日から信頼性を判断する	見えそうなサイトを選ぶ
	(C) アンケート	質問づくり、質問の種類、選択肢	質問の順序や逆転項目など分析方法を想定した工夫がある	課題や相手にあった質問の種類や選択肢を工夫する	選択・記述など質問の種類を選ぶ 相手にあわせて質問文を配慮する	聞いてみたいことを質問文にする
	(D) インタビュー	<準備> 誰に聞くか、事前調査、質問づくり	答えを予想し追加質問を準備する	質問の文言や順番を整える	下調べをして、質問をしぼる	質問することを考えて書き出す
		<実施> 挨拶・進め方、メモ、質問を重ねる	返答に応じた追加質問をする	用意した質問をしてメモをとる	順に質問し、しっかり話を聞く	礼儀正しくインタビューをする
	(E) 観察・実験	<計画> 対象、条件、方法	課題をもとに観察・実験の計画を組み立てる	課題に応じて対象や方法を選ぶ	どのような条件が重要なのか理解して実施する	指示された方法で正しく実施する
<記録> 写真・映像の撮り方、メモ		課題にあわせて適切な記録方法を用いる	写真・映像の記録と言葉の記録を特に意識して組み合わせる	対象や構図を意識して撮る。キーワード、箇条書きなどでメモする	逆光やブレに気をつけて撮る。出来事を言葉で記録する	
(F) 体験	五感、視点・観点、企画・実施	課題をもとに、どこでどのような体験が必要か企画し、実行する	課題をもとに、視点や観点をもって体験活動に参加する	体験した際に思ったことや考えたことを言葉にする	感覚をはたらかせて体験を味わう	
(G) 表・グラフ	傾向・変化、判断	複数の表やグラフを組み合わせ課題につながる知見を見い出す	表・グラフから傾向や変化を読み取って説明する	表・グラフ中から必要な情報・数値を正確に読み取る。	何を示している表・グラフかを理解する。	
(H) 映像	感想、キーワード・キーシーン・心情、構成・表現、検索	課題をもとに、映像資料を検索・収集し、批判的に分析する	映像の構成や表現の仕方から伝えたいことを読み取って説明する	映像からキーワードやキーシーンを見つける、人物の心情をとらえる	映像をみて感想やわかったことを書く・話す	
編集	(I) 集約	<引用・要約> キーワード、出典	引用と要約のちがいを理解し、使い分けを判断する	キーワードとそれらのつながりを読み取り、要約する	課題につながる部分を抜き出し、出典をつける	大事だと思うところに線を引いたり、抜き出したりする
		<取舍選択> 判断の根拠、多面性	課題に対して、情報や意見の多様性を意識して情報を集約する	課題解決に役立つ情報を選び、根拠を示す	情報を選んだ理由を説明できる	課題に役立つと思う情報を選ぶ
	(J) 比較	共通・相違点、視点・観点	課題に対して、適切な分類や比較の方法を選ぶ	課題に対して、適切な視点・観点を考えて比べる	共通点・相違点が何かを見いだす	似ているものを集めて仲間分けをする
	(K) 関連づけ	部分と全体、因果関係	要素間のつながりと全体を見比べて課題解決の知見を得る	要素間のつながりから因果関係を見いだす	要素と要素のつながりをつけて説明する	どんな要素があるのかを見つける
	(L) 論理	主張と根拠、意見、反論	想定される反論に対する反論を用意する	根拠や意見の間にある関係をいかして自分の主張を組み立てる	根拠から複数の意見を見つけ、自分の主張を明確にする	根拠をもとに自分の主張を組み立てる
	(M) 表・グラフ	表記、選択	伝えたい内容に応じて、適切な表やグラフの形式を選ぶ	データから適切な形式の表やグラフに表すことができる	表やグラフを作る際、項目、見出し、単位などを適切に記入する	指示された形式で表やグラフを作成する
	(N) レポート	誤字・脱字、事実と意見、構成、論理展開	想定される反論への反証など読者を説得できる論理や考察がある	動機・方法・結果・考察・結論等、適切な構成で書かれている	課題について調べたことや事実と意見を区別した文章	誤字・脱字がなく、主語と述語の関係、接続詞や書式が適切な文章
	(O) 新聞	誤字・脱字、5W1H、客観性、レイアウト	記事の軽重を考えて紙面をレイアウトする	記事の見出し、写真のキャプションなどが記事内容に合っている	5W1Hの必要な情報が含まれ、事実と意見を区別した記事	誤字・脱字がなく、主語と述語の関係、接続詞や書式が適切な記事
(P) ポスター	レイアウト、色彩、キャッチ	デザインや言葉に印象を見る人を引き付け、印象に残る工夫がある	レイアウト、色彩や文字サイズが見やすいよう配慮されている	伝えたい内容に関する情報が過不足無く端的に表現されている	伝えたいことがタイトル・キャッチコピーなどに表現されている	
(Q) プレゼンテーション	箇条書き、構成、見やすさ、図式化	口頭発表との組み合わせを意識して情報が精選・図式化されている	図、写真、表・グラフ等が適切に配置され見やすい配慮がある	タイトル、概要、目的、結果、結論など適切に構成されている	伝えたい情報が箇条書きなどで端的に表現されている	
(R) 動画	取り出し、編集、構成、効果	テロップ、ナレーション、音楽、効果などを用いて印象的にする	伝えたい内容にあわせて映像の順番を考え、ストーリーをつくる	伝えたい内容にあわせて必要な部分だけを選び、つなぎあわせる	ブレや逆光、ノイズなどの問題のない映像を選ぶ	
発信	(S) 発表	話し方、資料活用、双方向性	やりとりなどで聞き手の様子を確認しながら臨機応変に話す	伝えたい部分の強調や、身振り手振りなど工夫をして伝える	伝えたい内容にあわせて話す速さや間の取り方を工夫して話す	資料を示しながら、声の大きさやアイコンタクトを意識して話す
	(T) 質疑応答	的確さ、関連づけ、深まり	質疑を通して課題を深められる質問をする・論点を示す／応答する	自分の発表と比べたり、関連づけたりした質問をする／答えられる	意図や思いをたずねる質問をする／答えられる	数値や言葉の意味などを確かめる質問をする／答えられる
	(U) ふりかえり	感想、考察、成長、発展	自分たちの学びを総括し、達成したことや今後の課題を考察する	他の学習者との交流を踏まえて課題について考察する	学んだこと、できるようになったことを書く	学んだことについて感想を書く